

平成22年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立富来高等学校

学校長 崎出 喜作

1 教育目標

- ① 自主的に学び、知・徳・体の調和のとれた人間の育成
- ② 一人一人の個性を伸ばし、生きがいを追求する人間の育成
- ③ 郷土を愛し世界に対する広い視野を持ち、自他の人格を尊重する人間の育成

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 中高一貫教育で積み上げた実績を生かし、地域の学校としての積極的な交流が求められている。
- ② 本校の特色の一つである国際コースの学習活動を充実することが求められている。
- ③ 学習に対する意欲及び基礎学力の不足が見られる生徒に対し、適切な指導を行い、生徒・保護者の期待に応える必要がある。
- ④ 一人一人の生徒の実態把握を進め、早期より自己の将来に関する情報提供などを通じて適切な進路指導を行う必要がある。
- ⑤ 一学年2学級の小規模校であるが、心身の調和のとれた人間の育成のためにも特別活動の活性化を図る必要がある。
- ⑥ 平成22年度で閉校となるが、その準備を進める必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 中高一貫教育の実績を生かし、中学校との連絡を密にし、連携教育の充実を図る。
- ② 国際コースを中心とした国際理解教育の充実を図る。
- ③ 適切な学習指導を行い、生徒の学力向上を図る。
- ④ 適切な進路指導を通じて、個に応じた希望進路の実現を図る。
- ⑤ 部活動・特別教育活動の活性化を図る。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 生徒の学力向上を図るため、学校の内外を問わず研修等に参加し資質の向上を図ることにより、指導方法等の工夫・改善に努める。
- ② 学校長の指導のもと、主任を中心に職員個々が資質の向上に努めることにより、組織としての活性化を図る。
- ③ 情報の共有化を図り、職員一人一人が学校経営に参画するという意識を醸成する。
- ④ 学校評価の実施を通して、校務の検証を行い、地域に信頼される学校づくりを目指す。

3 今年度の重点目標

- (1) 中高一貫教育の実績を活かした地域理解教育・国際理解教育の充実
- (2) 6年間を見通した中高連携最終生徒の希望進路の実現
- (3) 生徒との信頼関係を深めつつ関心・意欲を引き出す授業改善による学力向上
- (4) 部活動の充実、特別教育活動の活性化等を通じた地域との連携